

第6回（仮称）湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）
アドバイザー委員会 議事要旨

1. 日 時
平成29年5月21日（日）16:00～17:00
2. 場 所
三次市役所 本館3階会議室
3. 出席委員（五十音順，敬称略）
植田千佳穂（委員長），杉本好伸，湯本豪一
4. 議 事
・事業活動計画のスケジュールについて
5. 議事要旨
・上記議事について，事務局より説明後，討議が行われた。
・主な意見は以下のとおり。

（事業活動計画のスケジュールについて）

- ・事業活動計画の各項目について，開館までの期間は大変忙しくなるので，優先順位を勘案して準備を進めていく必要がある。
- ・展覧会の企画について，開館時に，何回分かは準備しておく必要がある。
- ・稲生物怪録関連資料のデータベース化等については，全国から貸りてくるか，それが難しければ，撮影に出向いていくことも想定される。その場合，撮影を自分たちや自分たちが委託した者が行えるか，先方の指定した業者が行う必要があるかも含め，早めに相手方と折衝し，計画を立てて進めていく必要がある。
- ・開館に向けた準備として，各地の博物館や資料館を調査し，情報を整理していく作業も必要である。
- ・三次市でも撮影が行われた映画「雪女」，その原作者である小泉八雲の記念館も含めて，何らかの形で関係がつけるとよいのではないか。
- ・ファンクラブについて，今回の奥田美術館の企画展において，妖怪ファンが潜在的に存在することが確認できた。こうした人を育てていく必要があり，すそ野を広げる受け皿として検討する必要がある。

（その他）

- ・8月に妖怪コレクションが三次市に来てからが中心になるが，アミューズメント部分も含めて，早めに検討を進めていく必要がある。同時に，オープンに向けた計画を，どういうコンセプトで，何を出していくか，早めにつめていく必要がある。

- ・コレクションの補修費用については、専門的な業者に出してみないとわからない。オープン時の企画展も考慮して、補修作業を進めていく必要がある。

6. 非公開の理由

（仮称）湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）の基本計画（素案）については、施設、事業、運営等について作業の途中過程を事務局から説明し、委員にそれぞれの立場から率直な意見をいただいた上で、今後、総合的に再整理して基本計画として取りまとめていくことにしている。そのため、会議を公開することにより不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあることから、非公開にて委員会を開催し、議事概要について公表する。